

自分で作る

はじける笑顔

みやざき弁当の日



宮崎県教育委員会

家庭で！学校で！『弁当の日』にあふれる笑顔

「みやざき弁当の日」の基本的な考え方

子ども達が自分で作った弁当を持って登校し、皆で会食する「弁当の日」の取組は、食に対する関心や意欲、感謝の心を育み、自分の食を自らつくる実践力を培ううえで大きな効果が期待できます。

また、弁当づくりの一連の活動には、自ら考え、判断し、表現する力の全てが凝縮されていますので「生きる力」そのものが育まれ、併せて、「子どもの自立」、「豊かな心の育成」、「学級や家族の絆づくり」など、子どもの成長を支える豊かな環境の醸成にも効果があるといわれています。

県教育委員会では、この「弁当の日」が更に普及するとともに、宮崎の実態や風土に応じた「みやざき弁当の日」が各地に誕生し、取組の輪が県下全域に広がり定着していくことを願っています。

子ども達の輝やかな成長への思いを込めて…取り組んでみませんか！「弁当の日」！